

地震発生!

あなたは自分や家族の命を守ることができますか?

8月30日～9月5日は防災週間です

環境防災課 ☎ 84-0314



自主防災リーダー研修会

7月20日(火)に神奈川県総合防災センターにおいて、防災に関する知識・技術を修

自主防災リーダー研修を実施しました

- 大規模災害時
 - ・ 初期消火や避難誘導
 - ・ 負傷者の救出・救護
 - ・ 炊き出し
 - ・ 避難所の運営 など
- 平常時
 - ・ 防災知識の普及
 - ・ 地域の災害危険の把握
 - ・ 地域内での防災訓練
 - ・ 防災資機材の備蓄・点検
 - ・ 防災研修 など

自主防災会の活動内容

得するための研修を開催し、各自主防災会から23名の自主防災リーダーが参加しました。当日は、簡易救出・搬送訓練などの実技研修のほか、避難所運営図上演習などを学び、あらためて、地域の防災リーダーとしての責任を認識した研修会となりました。

防災訓練に参加しましょう

開成町では、9月5日(日)に防災訓練を実施します。訓練では消火訓練や心肺蘇生訓練など、各自治会によりさまざまなメニューが用意されていますので、ぜひこの機会に、実際に体験してみてください。

多くの人の参加を!

防災訓練は、地域の将来を担う子どもたちや外国の方など、より多くの人に訓練に参加してもらうことが重要です。特に外国の方は、日本語に不慣れで、地震の経験が少ない場合が多く、いざというときに孤立してしまうことも考えられます。

もし、町内にお知り合いの外国の方がいる場合は、ぜひこの機会に防災訓練に参加してみてくださいよう、声をかけてみてください。



写真は昨年の各自主防災会訓練の様子

私たちの住む開成町に多大な影響を与えることが想定される地震として、神奈川県西部地震、東海地震、南関東地震、神縄・国府津-松田断層地震などがあり、いずれも地震発生の切迫性が指摘されています。

いつ起こるかかわからない地震災害に備えて、日ごろから一人一人が防災意識を高め、地震が発生した時の基本的な行動や備えについて考えてみましょう。

知って安心! 防災週間(8月30日から9月5日)や毎月1日に災害伝言ダイヤルなどが体験できます

● 携帯電話の「災害用伝言板」●

大規模な災害が発生した場合、NTTドコモ、au、SoftBank、WILLCOM、イー・モバイルでは、「災害用伝言板」を使うことができ、自らの安否やコメントを登録することができます。登録された伝言は、インターネット接続が可能なパソコンや他社の携帯からも次のURLで参照できます。

- [NTTドコモ]**
http://dengon.docomo.ne.jp/top.cgi
- [au]**
http://dengon.ezweb.ne.jp/
- [SoftBank]**
http://dengon.softbank.ne.jp/
- [WILLCOM]**
http://dengon.clubh.ne.jp
(WILLCOMからのアクセス)
http://dengon.willcom-inc.com
(他社携帯からのアクセス)
- [イー・モバイル]**
http://dengon.emnet.ne.jp/

● 災害用伝言ダイヤル171 ●

災害時には、被災地への電話はつながりにくくなります。「災害伝言ダイヤル171」は、そのような場合に使用できる「声の伝言板」です。

【録音するとき】

- ①「171」をダイヤルします。
- ②「1」をダイヤルします。
- ③連絡を取りたい被災地の方の自宅の電話番号を「市外局番から」ダイヤルします。
- ④伝言を録音します(30秒以内)。

【再生するとき】

- ①「171」をダイヤルします。
- ②「2」をダイヤルします。
- ③連絡を取りたい被災地の方の固定電話番号を「市外局番から」ダイヤルします。
- ④伝言の録音内容を確認します。

地震発生後の行動

地震その時10のポイント

- グラツときたら身の安全
- 落ち着いて火の元確認初期消火
- あわてた行動けがのもと
- 窓や戸を開け出口を確保
- 落下物あわてて外に飛び出さない
- 門や塀には近寄らない
- 正しい情報確かな行動
- 確かめ合おう我が家の安全、隣の安否
- 協力し合って救出・救護
- 避難の前に安全確認、電気・ガス

自分の身を守る地震への備え

基本は「住宅の耐震化や家具類の固定」

地震災害において住宅や家具類の倒壊が最も危険です。日ごろから、住宅の耐震化や家具類の固定など倒壊を防ぐ対策を行っておきましょう。

知っていますか? 自主防災会

防災・減災の要「共助」

災害が起きたとき必要な助けや支援には、「自分自身の身を守る(自助)」、「自分たちの住んでいる地域は自分たちで守る(共助)」、「町や消防、警察などの活動(公助)」があります。

まず、自らの身を守り、次に隣近所や地域の人たちと協力して被害にあった人たちを救出・救護する「共助」がとても重要です。大地震のような大規模な災害時には、火災や救助などが多発しますので、消防や警察も、同時にすべての現場に向かうことはできません。そのような事態に備え、自治会単位で組織されている「自主防災会」の役割が大切になります。地域住民が連携・協力して助け合うことで被害を最小限に抑えることができます。そのためにも、地域の防災訓練などへ積極的に参加しましょう。